

内科学概論(後期)

科目到達目標: 代表的な消化器疾患、血液疾患、神経疾患を理解し簡単な説明ができる。

科目責任者(所属): 山本 一博 (病態情報内科学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/2(水)	1	511	血液疾患	本倉 徹	臨床検査学	構造と機能および代表的疾患の病因・病態を理解する	血液の組成と機能、検査、鉄欠乏性貧血、急性白血病、悪性リンパ腫
2	10/8(火)	1	511	消化器疾患(肝)	永原 天和	機能病態内科学	構造と機能および代表的疾患の病因・病態を理解する	肝臓の構造と機能、肝炎ウイルス、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、黄疸、門脈圧亢進症、肝性脳症、食道静脈瘤、肝癌
3	10/16(水)	1	511	腎疾患	高田 知朗	第二内科診療科群	構造と機能および主な疾患の病因・病態を理解する	腎臓の構造と機能、腎疾患の検査
4	10/23(水)	1	511	腎疾患	福田 佐登子	第二内科診療科群	構造と機能および主な疾患の病因・病態を理解する	急性腎障害、慢性腎臓病
5	10/30(水)	1	511	消化器疾患(上部消化管)	八島 一夫	機能病態内科学	代表的疾患の病因・病態を理解する	食道癌、逆流性食道炎、消化性潰瘍、胃癌、ヘリコバクター・ピロリ
6	11/5(火)	1	511	消化器疾患(肝)	永原 天和	機能病態内科学	構造と機能および代表的疾患の病因・病態を理解する	肝臓の構造と機能、肝炎ウイルス、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、黄疸、門脈圧亢進症、肝性脳症、食道静脈瘤、肝癌
7	11/20(水)	1	511	消化器疾患(下部消化管)	河口 剛一郎	第二内科診療科群	代表的疾患の病因・病態を理解する	クローン病、潰瘍性大腸炎、腸結核、薬剤性腸炎、消化管ポリポーシス、大腸癌
8	11/27(水)	1	511	消化器疾患(胆・膵)	武田 洋平	第二内科診療科群	構造と機能および代表的疾患の病因・病態を理解する	胆・膵の構造と機能、胆嚢・胆管結石、急性胆嚢炎、急性閉塞性化膿性胆管炎、胆嚢・胆管癌、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌
9	12/4(水)	1	511	神経内科学序論	中野 俊也	医学教育学	代表的神経疾患の病因・病態の理解	神経系の構造と機能の復習、神経疾患の種類、神経症候学、検査法、治療など
10	12/11(水)	1	511	神経変性疾患、神経感染症	岸 真文	神経内科	代表的神経疾患の病因・病態の理解	認知症、アルツハイマー病、髄膜炎、脳炎
11	12/18(水)	1	511	神経変性疾患	足立 正	脳神経内科学	代表的神経疾患の病因・病態の理解	パーキンソン病関連疾患
12	12/25(水)	1	511	運動ニューロン疾患、筋疾患	渡辺 保裕	脳神経内科学	代表的神経疾患の病因・病態の理解	筋萎縮性側索硬化症、筋疾患、重症筋無力症
13	1/8(水)	1	511	脳血管障害、頭痛	瀧川 洋史	神経内科	代表的神経疾患の病因・病態の理解	脳梗塞、脳出血、動脈硬化、片頭痛、緊張型頭痛
14	1/15(水)	1	511	神経免疫疾患	阪田 良一	神経内科	代表的神経疾患の病因・病態の理解	脱髄、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群
15	1/22(水)	1	511	神経変性疾患	清水 崇宏	神経内科	代表的神経疾患の病因・病態の理解	脊髄小脳変性症、多系統萎縮症

教育ブランドデザインとの関連: 1、2

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 1、3

評価: 定期試験100%(マークシート)

その他: 実際の講義では時間が限られるため、キーワードの中でも特に重要と思われる事項のみを取り上げて進める予定である。

キーワードは自ら学習する際の要点として活用してほしい。